

2.3 自然的状況

2.3.1 気象の状況

長野県の気候は、盆地性の地形のため全県的に内陸型気候であるが、本圏域は長野県の北部に位置しているため、日本海側気候の影響を受け、内陸は盆地毎にそれぞれの特徴を持っている。

長野市等を包含する長野盆地は、「日較差」「年較差」が大きく「夏暑く冬寒い」典型的な内陸性気候で、特に長野盆地から上田・佐久盆地にかけては、日本国内では北海道東部に次いで雨の少ない地域となっており、年間降水量は 950mm程度である。

冬は季節風の影響で北部は雪の日が多く、南部は晴れの日が続き、標高の高い地域では、山岳地帯特有の気候を持っている。また、平地といわれている地域の多くが盆地のため、盆地特有の気候が現れている。

(1) 長野地方気象台

長野地方気象台の位置は図2-3-2 に示すとおりである。

長野地方気象台における主要な気象要素の平年値^{*1}及び平成19年における月別気象概況は表2-3-1、表2-3-2及び図2-3-1 に示すとおりである。

平年値の年平均風速は 2.4m/s、年平均気温は 11.7℃、年間降水量は 901.2mmとなっている。

* 1 : 平年値

気象を表す照準の尺度として用いられる気象要素の30年間の累計平均値で、10年ごとに改訂される。日本では現在1971～2000年の平均値が用いられている。

表2-3-1 主要な気象要素の平年値(長野地方気象台)

気象要素		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
気温	平均()	-0.7	-0.3	3.4	10.5	15.7	19.9	23.6	24.9	20.1	13.5	7.4	1.9	11.7
	最高()	3.4	4.2	8.9	17.1	22.2	25.3	28.9	30.5	25.0	18.8	12.7	6.6	17.0
	最低()	-4.3	-4.1	-1.1	4.8	10.1	15.6	19.8	21.0	16.5	9.2	2.9	-1.9	7.4
降水量(mm)		44.2	47.5	53.6	59.5	76.0	114.7	137.1	95.8	130.1	70.2	40.9	38.2	901.2
最多風向		東	東	東北東	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	東北東	東	東
平均風速(m/s)		1.9	2.1	2.7	3.0	2.8	2.6	2.4	2.5	2.4	2.2	2.1	1.8	2.4

出典：日本気候表（気象庁）

表2-3-2 月別気象概況(平成19年 長野地方気象台)

気象要素		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
気温	平均()	1.1	2.8	4.4	9.4	16.0	20.6	22.5	26.0	23.2	14.2	7.2	2.9	12.5
	最高()	5.5	8.5	10.6	16.1	23.1	26.4	27.1	32.2	28.7	19.5	12.6	7.1	32.2
	最低()	-2.5	-1.9	-0.8	3.8	9.9	16.3	19.2	21.6	19.4	10.1	3.0	-0.4	-2.5
降水量(mm)		37.0	35.5	70.0	28.0	85.5	141.0	70.0	129.5	85.5	116.0	25.5	63.5	887.0
最多風向		東	東北東	東	東北東	西	西	西南西	西	西南西	西南西	東	東	東
平均風速(m/s)		2.0	2.5	2.8	3.0	3.3	2.7	2.1	2.8	2.8	2.4	2.0	1.8	2.4

出典：気象庁(電子閲覧室)

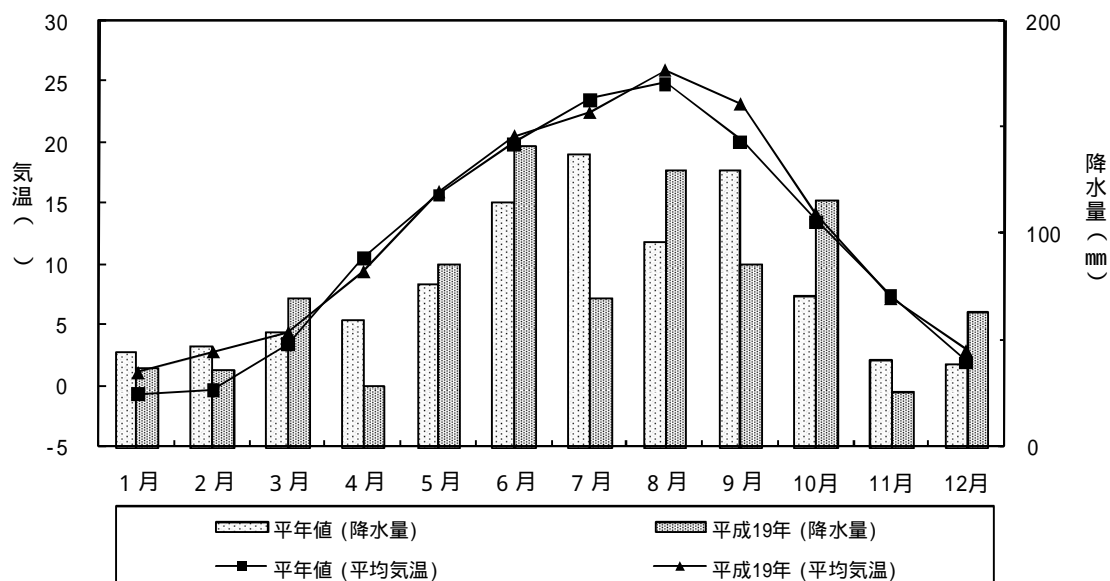
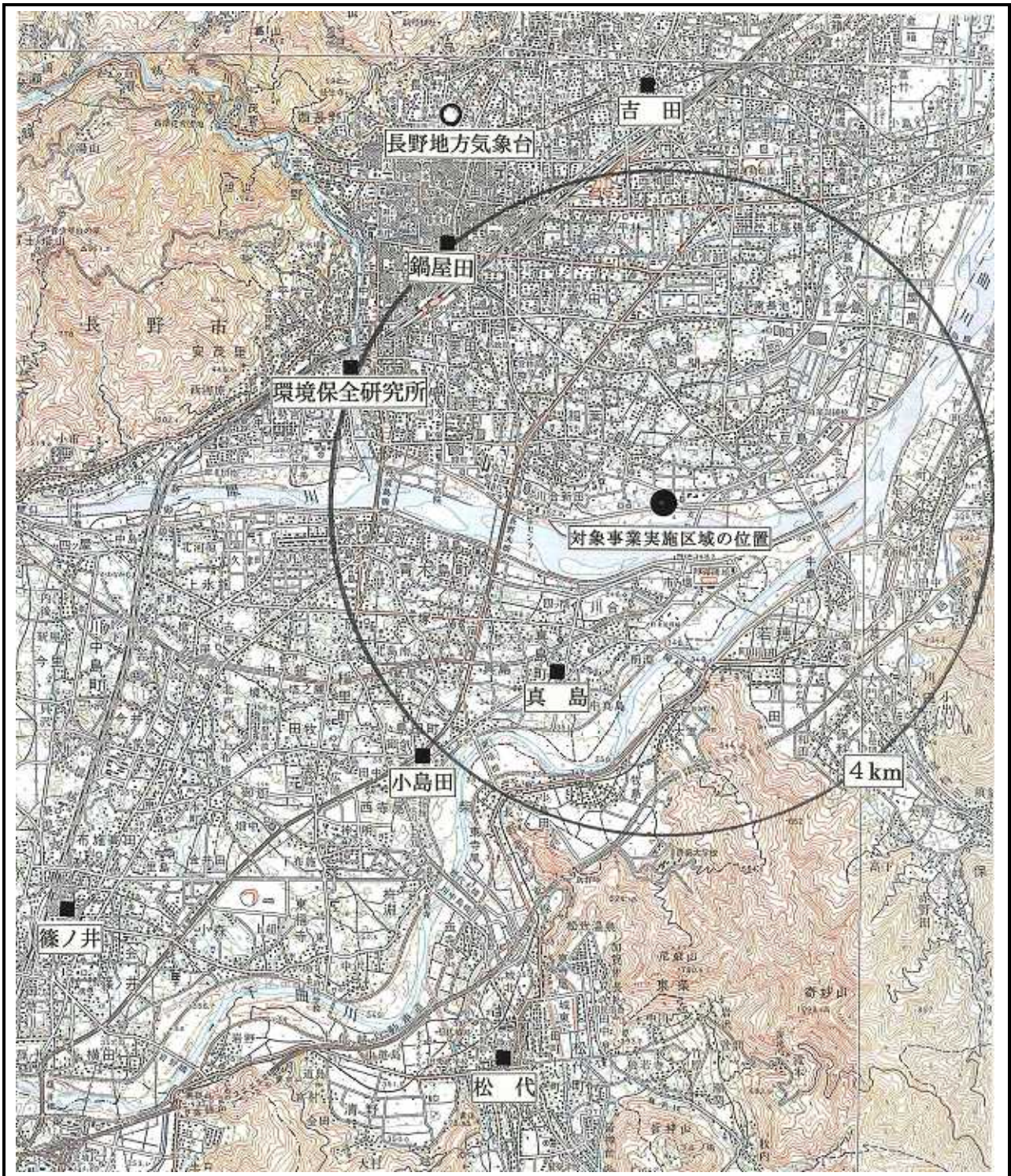


図2-3-1 平年値及び平成19年の平均気温、降水量



凡 例

- : 対象事業実施区域の位置
- : 気象台
- : 大気常時監視局

1:70,000

0 1,000 2,000m



図2-3-2 気象台及び大気常時監視局の位置

(2) 大気常時監視局における風向・風速

大気常時監視測定局において風向・風速の測定が行われており、長野市内の大気常時監視測定局の位置は前掲図2-3-2に示すとおりである。また、平成18年度の測定局における年間の風配図は図2-3-3に示すとおりである。

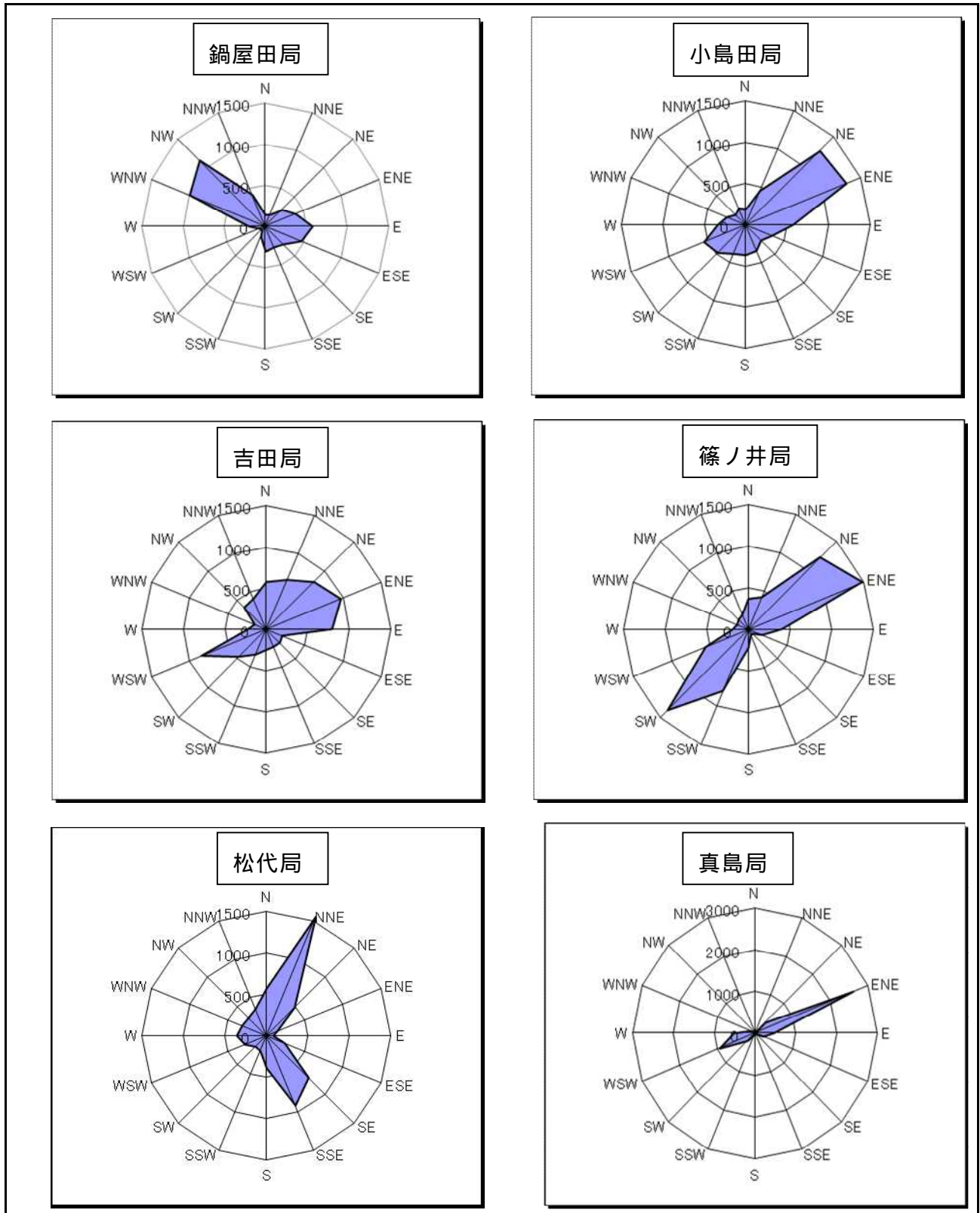


図2-3-3 長野市大気常時監視局における風配図(年)

出典：長野市環境衛生試験所年報(平成19年度)